

家族の健康を考えた居住環境のために 我が家は「遠赤王」製品を愛用

— 「なんかいいなって感覚、使っていて良さを感じるのです」 —

子供のアレルギー性鼻炎を案じて

「家族が花粉症とかハウスダスト(室内塵)など、アレルギー体質がありました。それに働いていると体が疲れるものですから」

石田さんが「遠赤王」の諸製品を購入したのは、それらの対策や改善などの健康管理に役立つかもしれないと考えてのことでした。

最初に購入したのは「遠赤王」ドーム『日だまり』でした。3年ほど前になります。

直接の導入動機は、当時、小学校高学年だったご長男のアレルギー性鼻炎体質を案じてのことでした。保育園の頃から薬を服用していた、というからその疾患とは「長い付き合い」ということになります。

原因は「主人もアレルギーがあり喘息を持っていた」ことから推察すれば体質遺伝かもしれません。

「アレルギー性鼻炎はひどくなると喘息になりますので--」

たしかにアレルギー性鼻炎の人の2~3割程度は、喘息を合併しているのが現状です。親としてはとても心配だったことでしょう。

ただ、薬は服用してはいたものの症状度合いとしては「初期段階で、別段、薬はいらぬ状態だったので薬に頼っていても仕方がない」と判断して、誘発危険因子になりそうな「食品添加物とか食べ物」といった食生活面の対策や、アレルギー性鼻炎を「コントロールするものは

何かないか」と探していたといえます。

そうしたなかで、石田さんが気づいたことがありました。

それは「主人も子供も体が冷えている」ことでした。むしろ本人たちは「暑がりだと否定しますが、冷えすぎて冷えが分かっていない」と思い、体温管理面で何か効果的なものはないだろうか思っていたそうです。

そんな時に友達から教えられたのが「遠赤王」の製品でした。

「冷えとアレルギー性鼻炎と関係があるのか分かりませんが、とりあえず冷えから改善してみようと思ひ、体に負担がなく安全ということだったので求めました」

その時のご長男も現在は中学2年生になりました。どうやらアレルギー性鼻炎は一段落したようです。その後石田さんは「遠赤王」シリーズの移動式置畳型遠赤外線床暖房『こはる日和』(2畳)を購入しています。

『こはる日和』は 寝て起きてもだるさがない

「遠赤王」製品の暖房は、クリーンな熱源なので居住空間環境にも人の健康にも優しいという判断があったのでしょう。正しい選択です。石田家の暖房対策は「アレルギーのある子がいる」ことからいろいろ苦労したようです。

暖房は「エアコンはあまり使わずオイルヒーター」ですが、当初は家を建てる時に床暖房の導入を考えていたといま

しかし「壊れると修理がきかない」と言われて断念し、「普通の電気カーベットを使っていたのですが、ハウスダストみたいな感じになったので、フローリングに似たタイプの電気カーベットに切り換えた」そうです。

ただ、難点があり「体は温まりその上で寝てしまうけど、だるさが残ります。その点、畳の『こはる日和』は、15分くらい昼寝をして仕事をしようかなと思って寝て起きてもだるさがない」との評価です。ご主人や子供さん方の評判も上々のようです。

「良くわからないけど使った感覚が、なんかいいなって、使っていてとても良さを感じるのです」

「小坐敷の丁ど半分小春哉」。これは穏やか小春日和の昼下がり。屋根の軒から射す陽光が小座敷の半分ほどを照らし、そこだけがまるでポカポカ春のような情景を詠んだ小林一茶の句です。

小春日和は、晩秋から初冬に訪れる日和ですが、「遠赤王」の『こはる日和』はいつでも、どこでも小春日和を実感できます。

「実は『こはる日和』を一番使っているのは、長い時間家にいるわが家の柴犬です」と石田さんは言いながら「犬もこのよさが分かるのですね」と笑われた。

これら以外にも、石田家では光健康床暖房『おひさまシート』を、ラドン発生岩盤浴施設を導入している2畳間ほどの部屋に敷き愛用しているとのこと



「こはる日和」

- 250,000円~500,000円(税別)
- 型式 EPT-800A
- サイズ:1畳、2畳、追加キット(写真は2畳タイプ)
- 消費電力:200W~800W

■こんな方にオススメ!



リラックスしたい方

洋室中心の建物が増えている日本。和室が減少している今こそ、もう一度畳の心地良さに触れてみませんか。こはる日和は緩やかにじんわりと身体の内部まで温め、全身をリラックスさせてくれます。



慢性的な冷えにお困りの方